

「食品ロス削減SDGsロッカー」の食品販売者の募集について

1 取組概要

横浜市では事業者による廃棄物とCO₂排出を削減するとともに、市民の皆様の食品ロスやCO₂削減に向けた意識醸成及び行動変容につなげるきっかけとするため、食品ロス削減SDGsロッカーの設置を進めています。

7月から事業者マッチングによる公募を開始したところ、4事業者5箇所の設置条件が整いました。それにより、各設置場所について、ロッカー設置者と食品販売者の募集を開始します。

2 食品ロス削減SDGsロッカーとは

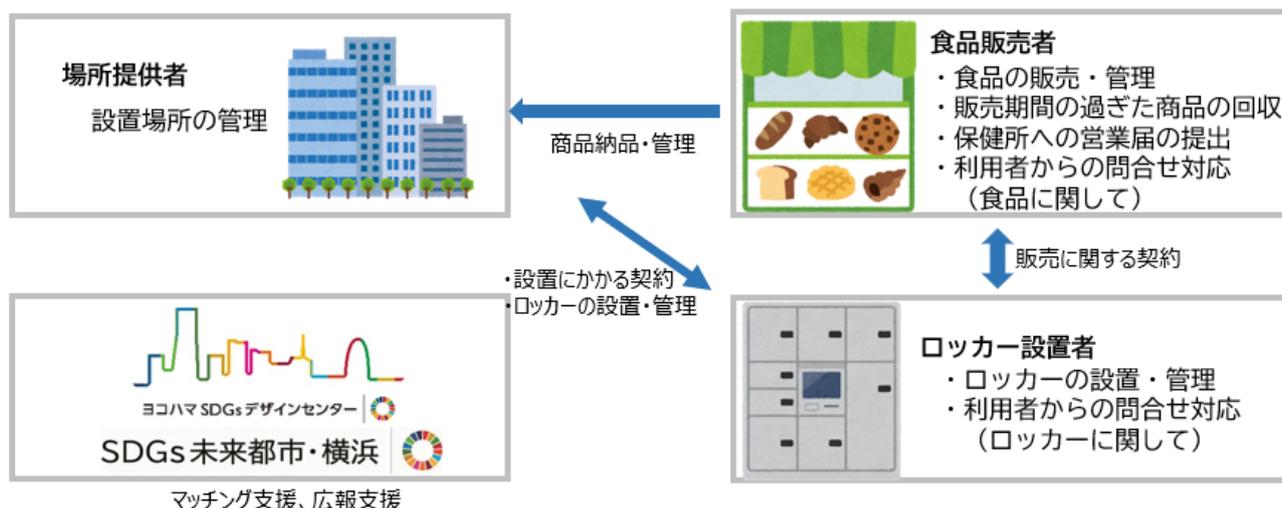
食品ロス削減SDGsロッカーは、まだ食べられるものが廃棄されてしまう、いわゆる食品ロスの削減により、廃棄物発生に伴うCO₂排出量を削減する取組です。

【参考】これまで設置した場所

- ・令和6年1月 SDGsステーション横浜関内（市営地下鉄関内駅構内） 中区
- ・令和6年4月 横浜銀行アイスアリーナ（市スポーツ協会管理運営のアイススケート場） 神奈川区
- ・令和6年5月 みなとみらい線馬車道駅 中区

3 取組内容

食品ロス削減SDGsロッカー 設置スキーム



本取組における役割について

- (1) 横浜市・ヨコハマSDGsデザインセンター
 - ・設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチング・調整
 - ・広報支援
- (2) 設置場所提供者
 - ・設置場所周辺の管理
 - ・設置料、設置期間等に関する調整、契約事務手続き

- (3) ロッカー設置者
 - ・設置料、設置期間等に関する調整、契約事務手続き
 - ・販売料、販売期間等に関する調整、契約事務手続き
 - ・ロッカーの調達、設置及び保守メンテナンス
 - ・食品ロスの削減量を月ごとに集計し、横浜市に報告
 - ・利用者からの問い合わせ対応(ロッカーに関して)
- (4) 食品販売者
 - ・販売料、販売期間等に関する調整、契約事務手続き
 - ・食品ロス削減に資する食品の搬入
 - ・販売中の商品の消費期限・衛生管理
 - ・消費期限を過ぎた商品のロッカーからの回収
 - ・お客様からの問い合わせ対応(商品に関して)
 - ・保健所への営業届の提出

4 募集内容

(1) 今回の募集場所（4事業者5箇所）

- ア 株式会社横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）
横浜市西区みなとみらい1-1-1 みなとみらい公共駐車場
- イ 横浜シティ・エア・ターミナル株式会社（YCAT）
横浜市西区高島二丁目19番12号 スカイビル1階 YCAT 第1ロビー
- ウ 株式会社横浜シーサイドライン（新杉田駅・金沢八景駅）
横浜市磯子区新杉田町8-1 シーサイドライン新杉田駅改札周辺
横浜市金沢区瀬戸19-30 シーサイドライン金沢八景駅改札周辺
- エ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
横浜市旭区矢指町1197-1 1階待合ホール

(2) 募集にあたっての前提条件

- ①2030年SDGs達成及び2050年カーボンニュートラルの達成への貢献について理解していること。
- ②食品ロス削減の意義について理解していること。
- ③食品ロス・フードロス削減に寄与する商品を販売すること。
(ex. 消費期限内でありながら廃棄されてしまう商品、規格外のため廃棄されてしまう商品等)
- ④販売中の商品の消費期限・衛生管理を行うこと。
- ⑤ロッカー内で販売し、売れ残った商品を回収すること。
- ⑥ロッカー設置者と販売料や販売期間等に関する調整や契約事務の手続きを行うこと。
- ⑦ロッカーで販売した商品に関して利用者からの問い合わせ対応を行うこと。
- ⑧商品の運搬及び回収時は、原則、徒歩又は公共交通機関を利用すること。
- ⑨本取組実施に際し、保健所への営業届の提出を行うこと。
- ⑩食品販売者は法人格を有する団体であること。
- ⑪公共の安全及び福祉を脅かすおそれがある団体又は公共の安全及び福祉を脅かすおそれがある団体に属する者でないこと。
- ⑫必ずしも連携事業者とマッチングし、事業実施が約束されたものではないことを理解していること。

(3) 募集条件（各募集場所別）

ア 株式会社横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）

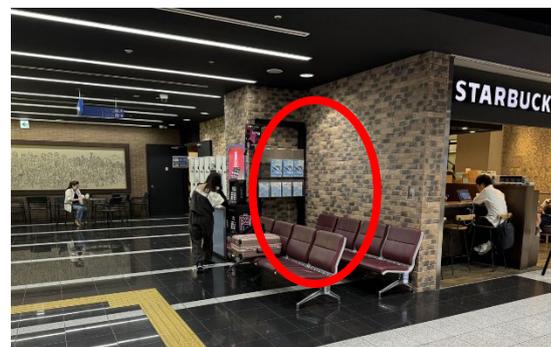
設置場所	横浜市西区みなとみらい1-1-1 みなとみらい公共駐車場
想定利用者	催事来場者、ホテル利用者等
商品の種類	①パンの商品を販売すること。 ②食品ロス削減・SDG 達成に資する 商品販売すること。



既に駐車料金の支払い機器や自動販売機があるスペースのため、人の行き来も多いです。

イ 横浜シティ・エア・ターミナル株式会社（YCAT）

設置場所	横浜市西区高島二丁目19番12号 スカイビル1階 YCAT 第1ロビー
想定利用者	高速バスの利用者等
商品の種類	①常温で販売可能な商品を販売すること。 ②食品ロス削減に資する商品を販売すること。



YCAT 第1ロビー内なので、高速バス利用者等の行き来も多いです。

ウ 株式会社横浜シーサイドライン（シーサイドライン新杉田駅）

設置場所	横浜市磯子区新杉田町8-1（シーサイドライン新杉田駅）改札周辺
想定利用者	シーサイドライン新杉田駅利用者等
商品の種類	①販売する商品は指定なし。 ②原則、食品ロス削減・SDGs に資する商品を販売すること。



シーサイドライン新杉田駅の出入り口のため、駅利用者の行き来も多いです。

エ 株式会社横浜シーサイドライン（シーサイドライン金沢八景駅）

設置場所	横浜市金沢区瀬戸 19-30（シーサイドライン金沢八景駅）改札周辺
想定利用者	シーサイドライン金沢八景駅利用者
商品の種類	①販売する商品は指定なし。 ②原則、食品ロス削減・SDGs に資する商品を販売すること。

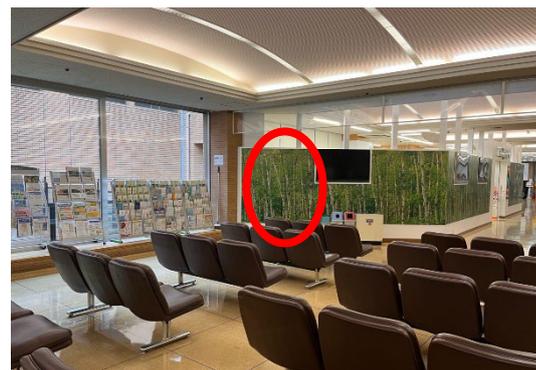


シーサイドライン金沢八景駅の出入り口のため、駅利用者の行き来も多いです。

※株式会社横浜シーサイドラインでは、上記駅（新杉田駅・金沢八景駅）以外の駅でも、ロッカーの設置の要望があれば、本取組の実施を前向きに検討します。

オ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

設置場所	横浜市旭区矢指町 1197-1 1階
想定利用者	病院利用者等
商品の種類	①常温又は冷蔵で販売可能な商品（すぐに食べられるもの） ②食品ロス削減・SDGs に資する商品を販売すること。



エントランス正面付近で、外来会計受付の待合スペースでもあるため、人通りが多いです。

5 今回の募集期間

令和6年8月29日（木）から9月13日（金）までです。

※応募状況により、期間を延長する場合があります。

6 食品販売者の決定

募集期間終了後、申込み・ヒアリング内容をもとに設置場所提供者と協議した上で、食品販売者を決定します。

申込みに対する結果は募集期間終了後から1か月以内に連絡を行います。

7 事業実施への流れ

食品販売を希望する方は、申込書を「10 問合せ先」に記載しているメールアドレス宛に提出してください。



申込書提出後、横浜市・ヨコハマ SDGs デザインセンター担当者がヒアリングを行います。



申込み・ヒアリング内容をもとに設置場所提供者と協議した上で食品販売候補者を決定します。申込みに対する結果は募集期間終了後からおよそ1か月以内に連絡を行います。

※ロッカー設置者と食品販売者からの申込みがない場合には、設置場所提供者と協議の上、その後の進め方を検討します。



食品販売者はロッカーでの販売料や商品、その他諸条件について、ロッカー設置者と調整を行っていただきます。条件面に折り合いが付き次第、本取組にかかる契約を2者間で締結いただきます。

※条件面での折り合いがつかなかった場合には、本取組は実施しない又は再度募集を行うこととなります。



契約関係がまとまり次第、マッチングが成立します。
本取組開始に向け、ヨコハマ SDGs デザインセンターが広報を行います。



取組開始(事前に保健所への営業届を行っていただきます。)

8 本取組における費用負担

本取組に関して、横浜市・ヨコハマ SDGs デザインセンターからの予算措置はありません。

9 関連資料

横浜市記者発表 (令和6年7月3日)

SDGs 達成・CO2 排出削減に貢献する「食品ロス削減 SDGs ロッカー」を設置しませんか？

～横浜市はロッカーの設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチングを開始します～

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/0703locker-koubo.html>

10 問合せ先

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 SDGs 未来都市推進課

食品ロス削減 SDGs ロッカー担当

TEL : 045-671-4371

Email: da-futurecity@city.yokohama.jp